

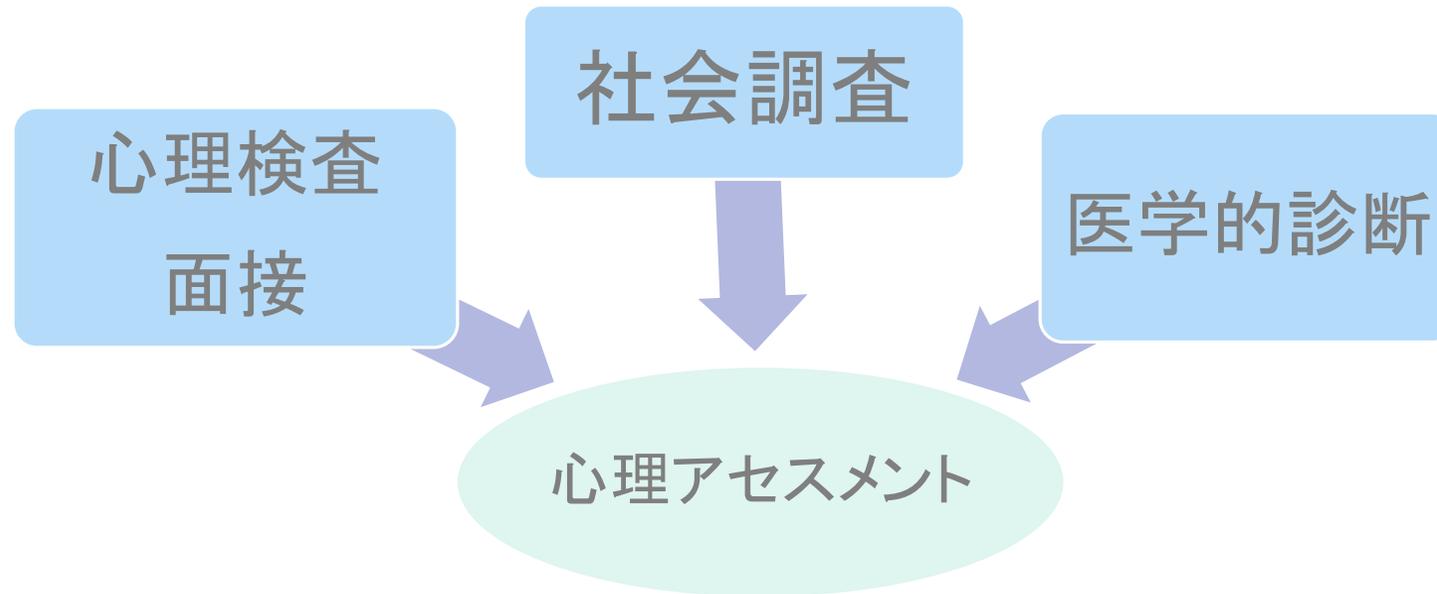
# 児童相談所における判定員の業務

---

北海道中央児童相談所  
判定援助係

# 児童相談所で行う心理判定とは

子どもとの面接、心理検査、観察、社会調査（生育歴、家庭環境、学校生活、医療）、医学的診断により得た情報から子どもの理解を深め、援助の方針を定めるために行う。



# 判定援助系の業務について

---

- 心理検査、面接
- 療育手帳の判定  
(相談の中で最も多いのは障害相談)
- 児童または保護者への心理療法
- 嘱託医による医学的診断 (必要に応じて)
- 一時保護中の児童の評価と心理療法

# 心理診断の流れ

## 心理検査

- 知能検査(発達検査)で能力や偏りを把握する
- 人格検査等で子どもの性格傾向や内面を探る

## 面接 情報収集

- 心理面接によって子どもの気持ちや出来事について確認する
- 社会調査や一時保護所内の様子等を確認する

## 追加

- 医学的診断や心理療法を必要に応じて実施する

心 理 診 断

# 何のために心理検査を行うのか

---

- 子どもの知的能力、発達特性、パーソナリティを評価する。
- ケースワークや支援のための手がかりとする。
- 子どもの困り感、親の困り感を明らかにし、その子が生きやすくなる方法を一緒に考えるため。



検査だけで全てを明らかにすることは難しく、検査はあくまでも支援を考えるためのツールの一つであり、目的ではありません。その結果を、子どもの今後の生活にどう繋げていくかが大事です。

# 当所で実施している主な検査

---

## 知能検査

- 田中ビネー知能検査V
- WISC-IV, WISC-V
- WAIS-IV
- wppsi-III

## 発達検査

- 新版K式発達検査
- KIDS乳幼児発達スケール
- 遠城寺式乳幼児分析的  
発達検査
- S-M社会生活能力検査

## 人格検査など

- バウムテスト
- P-Fスタディ
- ロールシャツハテスト
- ベンダーゲシュタルトテスト

# 心理療法

---

- 心理療法は、助言指導や継続指導等の援助の一つとして行っている。
- 児童相談所の心理療法では、対話や遊び、創作活動等を通して子どもに情緒の安定や、行動などに変容をもたらすことを目的に行う。

実際に行われているものとしては・・・

- 心理教育
- 箱庭療法
- 遊戯療法
- 創作活動